

神み計ウ第46号

平成31年1月18日

近畿財務局神戸財務事務所長

鈴木 徹 様

神戸市長 久元 喜



地域の整備計画等に関する意見照会について（回答）

平素より本市行政にご協力いただき誠にありがとうございます。

平成31年1月9日付け神財統一第4号にて照会をいただきました表題の件について下記のとおり回答します。

記

1. 財産の所在地等

所在地	登記地目	数量 (㎡)
神戸市中央区新港町124番	宅地	6,759.97
神戸市中央区新港町125番	宅地	1,463.02
神戸市中央区新港町128番	雑種地	1,441.10
神戸市中央区新港町129番	雑種地	121.57
神戸市中央区新港町130番2	雑種地	19,341.63

2. 地域の整備計画又は環境保全等に関する意見

神戸港は、1868年の開港以来、我が国を代表する国際貿易港として発展してきました。戦後の経済発展による海上輸送貨物の増加や船舶の大型化、さらには物流のコンテナ化に伴い、物流の拠点が順次ポートアイランド等の沖合へと移る一方、当該国有地を含む新港突堤西地区などの古い港湾地区では、施設の老朽化や活動の低下が目立つようになってきました。

このような中、市は平成23年に第5次神戸基本計画（神戸づくりの指針）、「港都神戸」グランドデザインを策定し、都心に近いウォーターフロントエリアをかつての物流の場から親水機能・商業機能・居住機能等を導入した再整備を行っていく方針を定めました。平成25年7月には、新港突堤西地区が都市再生特別措置法に基づく都市再生緊急整備地域の指定を受けています。

また「まち・ひと・しごと創生法」に基づく、神戸創生戦略（平成29年3月（第3

版))、神戸2020ビジョン(平成29年3月(第2版))においても新港突堤西地区等の再開発を市の主要施策に位置づけ取り組みを進めています。

さらに、神戸開港150年の節目に策定した「神戸港将来構想(平成29年7月)」においても、「世界から人を惹きつける神戸ウォーターフロントの形成」をコアプロジェクトとして掲げ、新港突堤西地区の再開発を進めることとしています。

当該国有地の利活用については、上記のように土地利用転換をはかる再開発事業を進めている点をご考慮いただきますようお願いいたします。

3. 担当及び連絡先

神戸市みなと総局計画部ウォーターフロント計画課

電話 078-322-6596 Fax 078-322-6127